

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学 校 教 育	いちかわともこ 市川知子 (54 歳)	廿日市市立宮内小学校 養護教諭 (廿日市市)	児童への指導とともに、行事の企画・開催や保健便り等の文書配布を通して、保護者への啓発を積極的に行うことにより、主に心の健康づくりの推進に大きく貢献した。また、養護教諭の専門性を生かした教育相談体制の充実に寄与した。
	メッセージ		
	<p>この度は身に余る賞をいただき、ご指導いただいた方々と多くの子どもたちに心より感謝しております。これまで、子どもたちの心の健康づくりや心の居場所づくりについて全国学校保健研究大会、教育センター等で実践発表をさせていただき、取組みのまとめや振り返りを通して学ぶ機会に恵まれました。これからも養護教諭の専門性を生かし、子どもたちの成長を支援できるよう研鑽を積み、尽力して参りたいと思っています。</p>		
	はぎわらひでこ 萩原英子 (48 歳)	安芸太田町立加計小学校 教諭 (安芸太田町)	複式学級におけるコンピュータを利用した間接指導の工夫について研究を深めるとともに、日常の事象を数理的に捉え主体的にかかわる授業づくりを行うなど、複式教育、算数科教育の充実に貢献した。また、東京大学と連携し協調学習の推進に大きく寄与した。
	メッセージ		
	<p>複式教育、算数科教育とも「子供たち自ら学びに向かっていくような授業をしたい」と取り組んできました。また、東京大学と連携して安芸太田町が推進してきた「協調学習」では、新しい授業観に基づく授業づくりについて全国の先生方と熱い議論を重ねてきています。これまで出会った子供たちと同僚、指導助言をいただいた先生方に深く感謝するとともに、本県教育発展のため、今後さらに研鑽していきたいと思います。</p>		
	と井なみ 土井尚美 (49 歳)	尾道市立土堂小学校 教諭 (尾道市)	コミュニティ・スクールとしての教育課程の企画立案及び実践を掌り、校長の学校運営を補佐し、ミドルリーダーとして所属職員の指導力の向上、人材育成に大きく貢献した。また、地域の関係者や保護者との連携を深め、総合的な学習の時間に「郷土の歴史や文化」を学び継承する取組みに大きく寄与した。
	メッセージ		
	<p>素晴らしい賞をいただき、児童・保護者・地域の皆様やこれまで土堂小教育に携わってこられた方々に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。本校は「学ぶことが楽しい学校」を合言葉に、全教職員一丸となって教育実践に取り組んでいます。今後も、「グローバル社会を生き抜き未来を拓く人材」を育成するために、日々精進を重ねてまいります。ありがとうございました。</p>		
	きもとなおき 木元直樹 (43 歳)	福山市立松永小学校 教諭 (福山市)	県外人事交流において他県に派遣され、集団づくりや生徒指導等の実践を学び、現在の教育活動にその成果を生かし、学校課題や児童理解に基づいた計画的な指導を提示し、児童の自己肯定感を高めるなど生徒指導の充実に貢献した。
メッセージ			
<p>このたびは、このような賞をいただき、大変驚いております。これまでご指導して下さった先生方、応援し支えて下さった地域・保護者の皆様、共に学び高まり合ってきたすべての子供達に感謝しています。教員としても、人間としてもまだまだ未熟ではありますが、この賞に恥じぬよう、より一層精進し、微力ながら広島県教育の発展に尽力していきたいと思います。</p>			

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学 校 教 育	石 田 恵 美 (48 歳)	尾道市立向東小学校 栄養教諭 (尾道市)	郷土の食環境及び人材を効果的に活用し、地場産物や郷土料理を積極的に学校給食に活用するなど、幼稚園・小学校・中学校の連携による 12 年間を見通した計画的系統的な食育の推進に取組み、平成 26 年度広島県学校給食表彰に大きく貢献した。
	メッセージ	<p>この度は、思いがけない賞をいただき、恐縮しております。</p> <p>この受賞は、尾道市向東地区の方々や、保護者、教職員、又「食」に関わる多くの方々のおかげと深く感謝申し上げます。</p> <p>今後も、子供たちの将来にわたる健康づくりのために、幼稚園・小学校・中学校の連携による 12 年間を見通した食育の推進に努めてまいりたいと思います。御指導よろしく願いいたします。</p>	
	さ ね ぎ た か あ き 佐 伯 貴 昭 (50 歳)	熊野町立熊野東中学校 教諭 (熊野町)	広島大学との共同研究や ESD の研修を深め、広島県、熊野町の学力向上対策事業における研究推進教員として小学校を含めた研究推進を行う中心人物として中学校区における学力向上に貢献した。
	メッセージ	<p>この度は、このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。これもひとえに、多くの方々のおかげと感謝しております。</p> <p>たくさんの方々に御指導をいただきながら、小学校と連携して、生徒の学力向上に取り組んできました。また、生徒の思考力を育み、グローバルな人材を育成するために、広島大学と共同研究を行い、ESD にも取り組んでいます。</p> <p>今後もこれまでの取組を継続し、生徒の学力向上のために精進してまいります。</p>	
	こう も みゆき 河 面 幸 (54 歳)	三次市立三次中学校 養護教諭 (三次市)	養護教諭としての専門性を生かし、教育相談と生徒指導を通して生徒、保護者に関わり、生徒指導上の諸問題の解決に寄与した。また、平成 26 年度広島県学校保健研究協議会において実践発表するなど健康教育の充実に貢献した。
	メッセージ	<p>このような賞を頂戴し恐縮しています。三次中学校で長年かけて築き上げられた“自己肯定感を高めるための組織的な活動”が評価されたものと思います。昨年度の学校保健研究協議大会の中国大会及び広島県大会の実践発表に対し広島県教育委員会、三次市教育委員会の皆様のご指導に感謝します。</p> <p>今後も生徒の声に耳を傾け、言葉を交わし、生徒理解に努め、生徒の健全な心身の発達を見守るために全職員で歩んでいきたいと思っています。</p>	
	い の あけ み 井 野 明 美 (54 歳)	三次市立三良坂中学校 事務長 (三次市)	事務長として学校経営にも積極的に参画するとともに、人材育成や業務改善を意識した取組をすすめた。また、学校組織マネジメント指導者養成研修で学んだものを広島県事務長研修会で発表するなど、県全体の学校事務の推進に貢献した。
	メッセージ	<p>栄誉ある賞をいただき深く感謝申し上げます。</p> <p>子どもたちの豊かな教育を支援する学校事務のため様々な取組をしてきた事務長・学校事務職員へ評価いただき、代表していただいたものと思っております。また、学校事務に対しご指導いただいた上司の方々、ご尽力された諸先輩方のお姿に思いをはせながら、この賞の重みをかみしめております。</p> <p>今後も教育推進のため行政職としての専門性を発揮した取組を進めて参りたいと思います。</p>	

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	生田泰文 (49 歳)	大竹市立大竹中学校 教諭 (大竹市)	縦割り集団を生かした清掃活動の充実、あいさつ運動の活性化、体育祭や文化祭等の行事の充実など、生徒会活動の活性化を通して自治の力を養い、生徒の意欲、主体性、自己肯定感を育成し、生徒指導の充実及び学校の教育力の向上に貢献した。
	メッセージ	<p>このような素晴らしい賞を頂き、身に余る光栄に存じます。これまで出会った生徒達、そして先生方のおかげだと、心より感謝しております。</p> <p>これからも、見通しをもって場を与え、よりよい学校生活を自分たちでつくり出そうとする生徒を育てていきたいと思っております。生徒達とともに、仲間とともに、新たな可能性に日々挑戦していきたいと思っております。この度は、本当にありがとうございました。</p>	
	すぎ原太志 (52 歳)	尾道市立長江中学校 教諭 (尾道市)	陸上競技の指導者として、女子 100 メートルハードルの種目で 4 年連続全国大会出場に導くなど、本県陸上競技の発展及び競技力の向上に貢献した。
	メッセージ	<p>この度は、このような素晴らしい賞をいただき、光栄に存じます。これまで係わらせていただいた生徒や保護者の皆様、私を支えて来てくださった先生方など、多くの皆様のお陰と感謝申し上げます。</p> <p>微力ながら今後も、部活動はもとより、全ての指導を通して、生徒の人間的な成長と広島県陸上界の競技力のさらなる向上を目指し、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばしていくことを目標に精進してまいります。</p>	
	おおばやしかずひこ (51 歳)	西条農業高等学校 教諭 (東広島市)	規律ある保健体育の授業を通して、主体的に学ぶ生徒を育成し、他の教員の模範となった。また、陸上競技部顧問として、13 年連続全国高等学校総合体育大会出場と、平成 15 年度の男子 5000m 競歩優勝、さらに、国民体育大会でも過去 3 度優勝に導くなど、部活動の活性化及び本県陸上競技の発展に貢献した。
	メッセージ	<p>この度の表彰におきましては、身に余る光栄に存じます。</p> <p>創立 104 年の伝統を誇る西条農業高校で、これまで生徒の自己指導能力を育成する教育を多くの先生から学び、授業や部活動において生徒の自己実現を高めるよう推進して参りました。私をご指導してくださった方々に感謝しながら、今後も微力ではありますが、本県教育の推進、スポーツの発展に貢献できるよう、尽力したいと考えております。ありがとうございました。</p>	
	三木仁司 (50 歳)	安芸高等学校 教諭 (広島市)	生徒指導主事として生徒の規範意識を育てる指導を行い、他の教員の模範となった。また、陸上競技部顧問として、全国高等学校総合体育大会に多数の選手を出場させ、平成 23 年の第 66 回国民体育大会では、ハンマー投で優勝させるなど、部活動の活性化及び本県陸上競技の発展に貢献した。
	メッセージ	<p>「将来の姿を見据えて目の前の生徒に向かう」ことを軸として日々実践に努めています。</p> <p>今回、諸先輩方や同僚、家族など多くの人々に支えられ積み上げてきた実践と、共に頑張ってきた生徒達の成長に対して評価して頂いたこと、大変感謝しております。</p> <p>今後も微力ながら本県教育発展のため、さらに精進して実践を積み、成長していきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>『日々精進・日々成長』</p>	

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学 校 教 育	おか きき とも かず 岡 壽 友 一 (45 歳)	呉三津田高等学校 教諭 (呉市)	英語の教科指導において優れた指導力を有し、特に ICT 機器等を駆使して効果的に教材を生徒に提示するなど、校内の授業研究を推進し、校外でも研修会の講師を務めた。国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業（論理的思考）における研究推進の中心として、所属校の教育活動の充実に貢献した。
	メッセージ	呉三津田高校は、高い志（Mitsuta Spirit）を持った生徒が集い、生き生きと青春を謳歌する活気あふれる学校です。授業はもとより、学校行事や部活動、昼休憩の遊びなど、すべてに全力を傾けています。このような学校に勤務できることは私の誇りであるとともに、生徒たちと同じ時を過ごし、互いに知性を磨き合えることに感謝しています。 今後も日本一の学校を目指して努力していきたいと思っております。	
	なわ た のり こ 縄 田 典 子 (54 歳)	広島国泰寺高等学校 教諭 (広島市)	保健体育の授業において、グループ学習による生徒同士の話し合い活動を積極的に取り入れ、言語活動を充実させる取組を推進している。また、文部科学省企画・発行の「高等学校における薬物乱用防止啓発DVD」作成協力者になるなど、広島県の保健体育科教育の向上に努めるとともに、指導的立場にある。
	メッセージ	この度の受賞は身に余る光栄であり、深い感謝の念と共に身の引き締まる思いで一杯です。 保健体育科教員として「授業第一」で取り組み、様々な研究や研修を積み重ねて参りました。グローバル化の進展は、子どもたちに心身のタフさと真の優しさをより一層求めるものと考えます。不易と流行をしっかりと見極め、本科が担う役割を自覚し、日々の教育活動に一層励んで参ります。 今後とも御指導賜りますようお願い申し上げます。	
	おお つぼ ひろ え 大 坪 浩 恵 (49 歳)	廿日市特別支援学校 教諭 (廿日市市)	知的障害教育における高い専門性を有し、専門誌等での発表や広島県教育委員会主催の研修会で講師を務めるなど、県内特別支援教育の発展に貢献した。専任の教育相談主任として、地域の学校の要請に応じ、幼児児童生徒の実態に応じた支援方を的確に助言し、県内特別支援教育の充実に寄与した。
	メッセージ	この度、このような賞を頂き、驚くとともに、これまで出会ったたくさん子ども達、保護者の皆様、先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。 「わかった！できた！やってみよう！」と子ども達が瞳を輝かせる実践を作りたいという思いで日々取り組んできました。 今後も、特別支援教育に関わる多くの方とつながり、子ども達の力や可能性がひろがる実践に向け、研鑽を積んでいきたいと考えます。	
	まつ かん けい 祐 松 間 計 祐 (46 歳)	宮島工業高等学校 主幹実習教諭 (廿日市市)	工業の建築分野を得意とし、教科指導では教諭を補助し、生徒の高度資格取得に尽力した。「高校生ものづくりコンテスト」木材加工部門において、平成 24 年度以降は毎年、所属校生徒を県大会優勝に導き、平成 24 年度全国大会では 3 位入賞を果たすなど、県内のものづくり教育の推進に寄与した。
	メッセージ	一つのを創りあげていくことは、とても大変なことです。しかし、目標を掲げて日々努力すれば、必ず結果が出てきます。それを経験した人間は大きく成長していきます。これからも、その繰り返しで積み重ねていだけます。 この度の受賞は、人との出会いや環境に本当に感謝しています。これからも、引き続きご指導いただきたいと思ひます。 本当にありがとうございました。	

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
体育・ スポー ーツ	ふじ い たか やす 藤 井 貴 康 (44 歳)	(一財)広島県 バスケットボール協会 理事 (東広島市)	<p>広島県バスケットボール協会の理事及び広島県高等学校体育連盟バスケットボール専門部の委員として、競技力向上及び普及に尽力している。</p> <p>国民体育大会では、少年男子選抜チームのコーチ・監督として本大会に 6 回出場し、特に平成 23 年山口国体及び平成 26 年長崎国体においてはチームを 3 位に導くなど高い指導力を発揮している。</p>
	メッセージ		
	<p>この度の受賞について、深く感謝申し上げます。</p> <p>これまで競技の普及・振興のために、出会った多くの生徒・選手、保護者の皆様、同僚の先生方をはじめ、全国の指導者の皆様や選手の皆さんからこの競技の特性を学び、選手と共に時間や思いを共有することが「自分に対するチャレンジ」と捉え取り組んで参りました。</p> <p>今後も、信念を持って努力を続ける大切さを指導して参ります。本当にありがとうございました。</p>		

○ 団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校 教育	かわね 安芸高田市立川根小学校 (校長 山根 昌美) (安芸高田市)	<p>関係機関と連携して児童の安全確保のための自転車の乗り方指導に取り組んでおり、地域には、児童の安全確保のため、日常的に児童の登下校に自転車で付き添う人がいる。自転車の運転の技能と安全のための知識を競う交通安全子ども自転車広島県大会に参加し、毎年、上位入賞を継続している。こうした取組の成果として、通学中の交通事故は生起していないなど、児童の生活に密着した安全教育の充実が図られている。</p>
	メッセージ	
	<p>本校は、全校児童 26 名のへき地・小規模校です。1 年生からの自転車通学を支えるため保護者や地域の方、警察署等多くの関係者の支えにより安全教育を進めてきました。また、自転車大会への参加は今年で半世紀を迎え、安全意識の高揚とともに、伝統を受け継ぐ責任と自覚、自己への挑戦、団結力の高まり等の子どもの成長につながっています。</p> <p>今回の受賞を受け、長年ご理解・ご支援いただいている多くの関係者の皆様に感謝申し上げますと共に、喜びを分かち合いたいと思います。</p>	
	福山市立誠之中学校 (校長 岡野 英俊) (福山市)	<p>教科指導、生徒指導の両面から、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を校区 3 小学校と連携し進めている。特に、発達段階に応じて小中一貫した授業規律の確立を徹底することで、中学校に入学した生徒が、スムーズに授業や学校生活に馴染むことができおり、取り組んできた結果が着実に成果に結びついている。</p>
	メッセージ	
<p>この度は、栄えある教育奨励賞の表彰をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本校は、校区内 3 小学校とともに「学力向上」「生徒指導」を始め、全ての面で「レベルアップ」をめざして取り組んでまいりました。</p> <p>そうした成果を評価していただき、生徒、教職員そして校区 3 小学校や保護者、地域の皆様とともに喜びを分かち合いたいと思います。</p> <p>今後とも、この賞に恥じないよう、さらなるレベルアップをめざしてまいります。</p>		

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校教育	<p>府中町立府中中学校 (校長 迫田 豊) (府中町)</p>	<p>学力調査の結果の詳細な分析を行い、生徒の課題を克服するための指導を徹底的に行うことや、ペアやグループで話し合う「学び合い」を授業に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成するなどの授業改善に取り組んでいる。さらに、保護者・地域・関係機関との連携、生徒指導の三機能を生かした教育活動を軸に、組織的な生徒指導に取り組み、暴力行為等問題行動が減少している。</p>
	<p>メッセージ</p>	
	<p>本校が取り組んでまいりました「学力向上対策」や「学び合いを取り入れた授業改善」、さらには「組織的な生徒指導」を評価頂き、生徒、教職員共々に光栄に存じます。 本受賞は、研究指定を契機として、広島県教育委員会、広島県西部教育事務所、府中町教育委員会からご指導頂いた賜物と深く感謝申し上げます。 また、学力向上対策の推進にあたっては広島大学等のご指導、組織的な生徒指導にあたっては、地域教育関係団体や警察署のご指導・ご支援のおかげであると感謝申し上げます。 今後とも、思考力・判断力・表現力を育成する授業改善と、組織的な生徒指導に懸命に取り組んでまいりたいと存じます。</p>	
	<p>〔呉中央学園〕 呉市立呉中央小学校 (校長 藤井 敏彦) 呉市立呉中央中学校 (校長 竹上 和徳) (呉市)</p>	<p>平成 12 年度に文部省の研究指定を受け、7 年間に渡り小中一貫教育の研究開発に取り組んだ。また、小中一貫教育を進めるための組織づくりや小中一貫カリキュラムを独自に作成するなど、常に積極的に実践研究に取り組んできた。さらに、研究公開や全国からの視察を受け入れるなど、その取組を広く発信しており、小中一貫教育の先駆けとして全国から注目されている。</p>
	<p>メッセージ</p>	
	<p>この度は、「呉中央学園」として、栄えある広島県教育奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。 「呉中央学園」は、平成 12 年度に研究開発学校の指定をいただき、小中一貫教育の研究を始めて今年で 15 年目になります。平成 19 年度には、広島県内公立小中学校では最初の小中一貫教育校「呉中央学園」として産声を上げ、これまで関わってきた全ての教職員・保護者・地域等多くの方々の夢と志をもって研究を積み上げて参りました。 今回の受賞を糧に、さらに、小中一貫ならではの学園文化の創造に取り組んで参ります。</p>	
	<p>呉市小学校教育研究会 理科部会 〔 会長 新田 憲章 〕 (呉市立両城小学校長) 呉市立中学校教育研究会 理科部会 〔 会長 若本 正 〕 (呉市立広南中学校長) (呉市)</p>	<p>長年にわたって小中の連携を重ねながら、今年で第 62 回を数える呉市科学作品展を継続して開催しており、自然に親しみ、科学研究に取り組む、多くの児童生徒を育成している。また、夏休みに呉理科教室を開催し、児童生徒の科学作品の質の向上に貢献している。さらに、中学校理科部会員が講師となり専門的な指導を行う小学校理科実技講習会を通して、小学校教員の実験での指導力を向上させている。</p>
	<p>メッセージ</p>	
	<p>児童・生徒の「科学する心を育てる」をモットーに、呉市立小・中学校教育研究会理科部会が協力して様々な取組を進めてきました。 特に、今年度第 62 回を迎えた「呉市児童・生徒科学作品展」は、科学研究の取組を呉の子供達に根付かせるとともに、毎年、多くの呉市民が楽しみにしている行事となっています。本受賞はこれまでの諸先輩方のご努力とご功績の賜です。今後も、小・中で協力し、広島県の理科教育の充実に寄与していきます。</p>	

平成 26 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
地域文化	<small>さいじょうしすい</small> 西城紫水高等学校 神楽部 (校長 山本浩史) (庄原市)	西城町神楽愛好会の指導のもと練習を重ね、自校の文化祭で演舞するだけでなく、高校生の神楽甲子園や庄原市民俗芸能大会、社協のつどい、三校連携クリスマスコンサートに出演するなど、年々活動の場を広げている。 神楽を通じて地域の歴史や伝統を学び、故郷の文化伝承の一端を担っており、30年間にわたり郷土芸能の保存継承に寄与している。
	メッセージ	
	本校神楽部は、約30年前に同好会として創設されて以来、郷土の伝統芸能を学び、継承していきたいという思いから活動してきました。30年間指導して下さっている西城町神楽愛好会の皆様を始め、多くの方々の御協力により、この度、名誉ある賞をいただくことができました。ありがとうございました。 今後も部活動を通じて、郷土の文化を継承していくと共に、多くの方々に神楽を披露していくことにより、地域の活性化に貢献していきます。	
社会教育	特定非営利活動法人 おのみち寺子屋 (理事長 柿本和彦) (尾道市)	平成15年から毎夏に、県内全域から小学校4年生から6年生を対象に「おのみち100km 徒歩の旅」というイベントを続けている。また、そのための学生ボランティアの人材育成にも力を入れており、地域における社会教育の振興に幅広く貢献している。
	メッセージ	
	実体験による青少年健全育成をメインの目的として事業を続けて参りましたが、今回の受賞をはじめ、これまでの活動はすべて関係者の皆様の温かいご支援の賜物です。 参加小学生がボランティア研修生（中学生）や高校生スタッフとして関わり、そして、学生リーダー（大学生）となって小学生をサポートするシステムは、持続可能な社会づくりの一助になると考えています。 これからも感恩報謝の心を忘れず、精進して参りたいと思います。	
	海田公民館 (館長 倉本勇登) (海田町)	地域の社会教育の拠点として、地域のリーダー育成や人々への学習機会や交流の場を提供するだけでなく、「おせっかいおじさん、おばさんがまちを変える」をテーマに地域人材による家庭支援事業を展開するなど、地域における社会教育の振興に貢献している。
メッセージ		
より良い地域をつくるには、そこに住む人々がお互いに遠慮するよりも、むしろ「おせっかい」を出しながら認め合う気持ちが必要ではないでしょうか。平成25年度から開始した「まちのおせっかいさん」養成講座では、講座生は皆、より良い地域づくりのため熱意を持って活動しています。 今回、このような栄誉ある賞を頂きありがとうございました。今後も地域の社会教育の拠点として公民館事業を進めてまいります。		

個人 17 名 8 団体